



花乱れ咲く柏陽

恵庭市立柏陽中学校 校長室から

令和6年11月1日（金）12号

校長 前田 真志

<今日から11月です>

11月となりました。10月は、前期の終了、後期の開始ということで、学校便り等でお知らせをしたように、生徒の成長が感じられた一ヶ月だったと思います。

さて、新聞報道等では、文部科学省から2つの調査結果についての告知がありました。

- 1 ・小中の不登校、最多34万人 11年連続増加 伸びは鈍化 文科省、昨年度調査
・道内いじめ4万9149件最多 23年度SNSも要因、4割増
- 2 ・「重大事態」が1.4倍に、いじめ認知件数は70万件超 2023年度
・道内 不登校は1万4361人

1の不登校については、本校では、昨年度より減少傾向にあります。文部科学省からは、どのような境遇にある児童生徒にも「学力保障」を行い、社会的自立につながるものが広く謳われており、本校も取組を進めております。

道内では、4万9149人と報道されています。恵庭市では、「ふれあいルーム」等学力を保障する場が設けられていたり、市内の各校に不登校生徒支援にあたる方を派遣いただいたりして、学習に関わる指導を受けています。そのような中本校では、登校することが多くなった生徒がいて、うれしく思っています。

2のいじめについては、北海道教育委員会の調査が年2回(5月、11月)あり、本校はそれに加えて、校内の独自調査も行い、保護者の方とも連携することで「いじめ見逃しゼロ」を掲げ、解消率100%を目指し取り組んでいます。

5月の道の調査では、本校では12件でした。相当の期間(約3ヶ月)に加害の行為や、被害を受けた生徒が心身の苦痛を受けていなければ解消した、と認知されていますが、被害を受けたことが、それ以上の期間が経っても、思い出してしまい不登校等になるケースが道内でも聞かれます。学校では、保護者・地域の方と連携を密にとりながら、生徒の安心・安全な学校生活に努めています。

これからの1ヶ月間には、7日(木)に学力テスト(全学年)、15日(金)に後期中間テストがありますが、学習はもちろん、生活についても生徒の成長を促したいと考えます。御理解・御協力をお願い申し上げます。

<第59回石狩管内中文連 生活体験・英語暗唱発表大会>

昨日10月31日(木)には、標記の発表会が江別市えぼあホールで開催されました。本校からは、学年の発表選考会を経て、3年2組の朝戸菜月さんが、「知ること」と題したヘッドネーションについての自らの気づきや体験を堂々と発表しました。管内の多くの中学生の考えを聞くこともできる機会となりました。

